

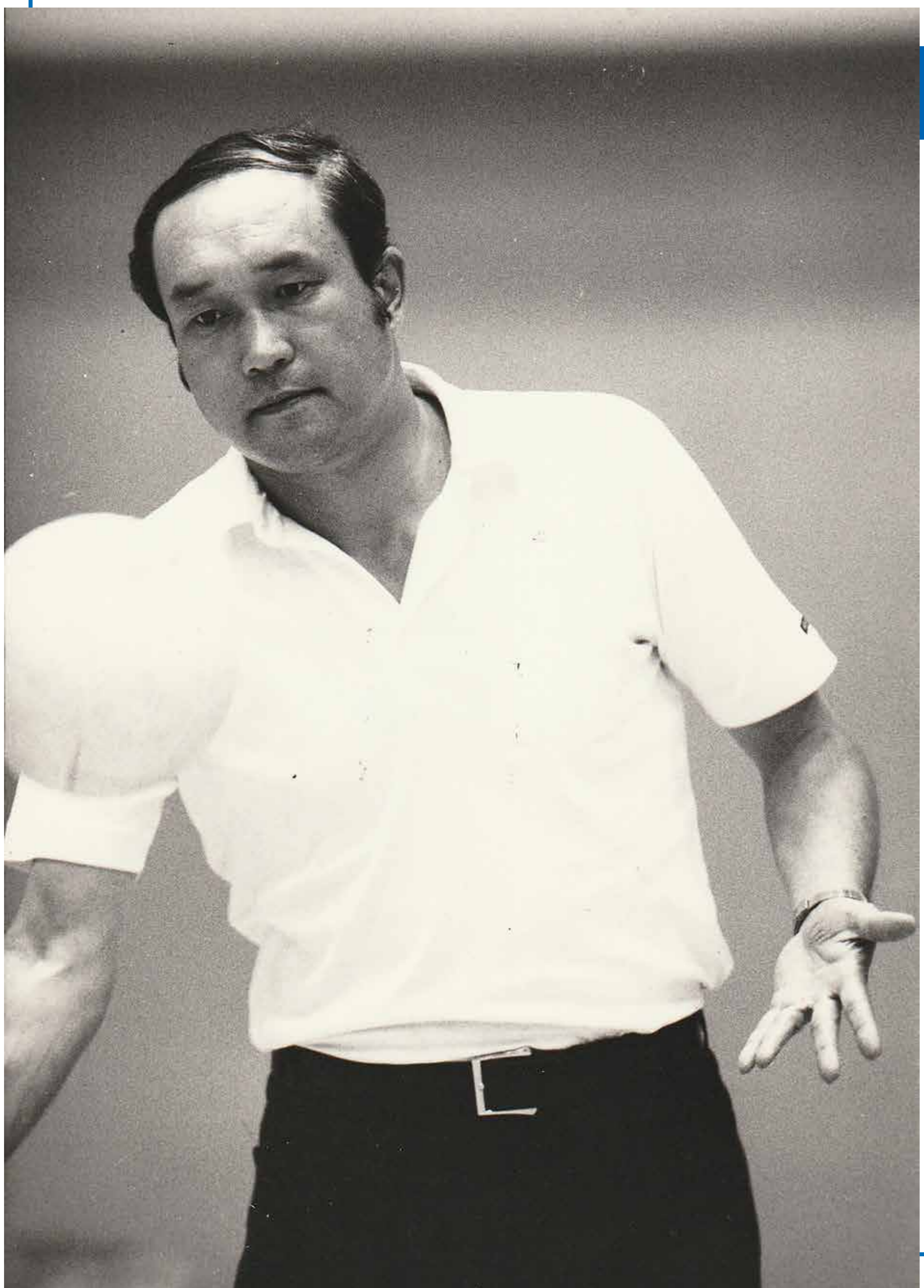
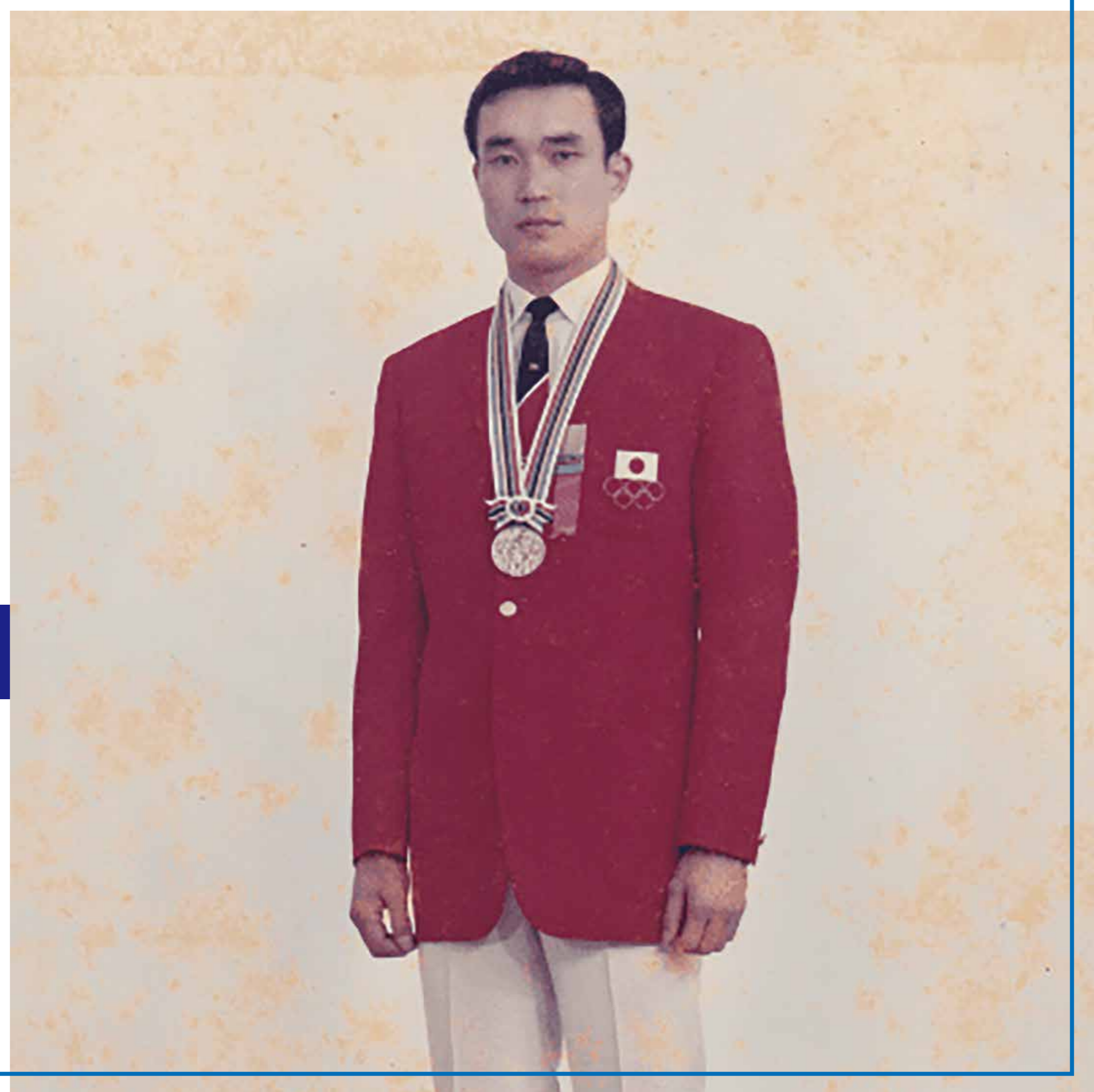
バレーボール男子オリンピックメダリスト
元全日本男子チーム監督

なかの なおひろ
中野 尚弘

昭和15年(1940年)～令和3年(2021年)

佐賀県鹿島市出身

SAGA LEGEND ATHLETE



PROFILE

氏名 中野尚弘 旧姓：池田

生年月日 1940年1月17日

出身校 鹿島高等学校
福岡大学

主な経歴	1962年 世界選手権(ソ連)	5位
	1964年 東京オリンピック	3位 🏆
	1965年 ワールドカップ(ポーランド)	4位
	1966年 世界選手権(チェコスロバキア)	5位
	1968年 メキシコオリンピック (コーチ兼任)	2位 🥈
	1972年 ミュンヘンオリンピック (コーチ)	1位 🏆
	1984年 ロサンゼルスオリンピック (監督)	7位
	1992年 バルセロナオリンピック (総監督)	6位

日本バレー界の発展期、長身から繰り出す豪快なスパイクを武器に、日本のエースアタッカーとして華々しく活躍した「中野尚弘」(旧姓：池田)。

東京、メキシコ、ミュンヘンと3度のオリンピックで日本のメダル獲得に貢献。

ロサンゼルス、バルセロナを含む5回のオリンピックを経験した。

また、現在のVリーグの原点にいた偉人でもある。

Vリーグの前身、日本リーグ(全日本バレーボール選抜男女リーグ)がスタートしたのは1967年。

八幡製鐵の監督兼任選手で、全日本の主将も務める中野がチームのエースとしてスパイク賞に輝き、第1回大会優勝の原動力になった。

ミュンヘンオリンピック前に、日本で最後の代表練習が佐賀市の市村記念体育館で行われた際には、館内に入れなかった多くの観客で人垣ができた。

地元佐賀にも貢献した偉大なレジェンドアスリートである。